

ハンドボール No. 47

Japan Handball Association



<input type="checkbox"/>	社会人
<input type="checkbox"/>	学生
<input type="checkbox"/>	高等
<input checked="" type="checkbox"/>	高体連
<input type="checkbox"/>	中体連
<input type="checkbox"/>	小学生
<input type="checkbox"/>	県協会

<input checked="" type="checkbox"/>	全国大会
<input type="checkbox"/>	ブロック大会
<input type="checkbox"/>	都道府県大会
<input type="checkbox"/>	地区大会

<input type="checkbox"/>	男子
<input checked="" type="checkbox"/>	女子

試合番号	菊池-女40
------	--------

年月日	2019年8月6日(火)
大会名	令和元年度全国高等学校総合体育大会ハンドボール競技大会

公式記録用紙

A 県立四日市商業高等学校					白梅学園高等学校					B				
熊本市		菊池市			菊池市総合体育館					3回戦				
前半	A 5	B 10	最終結果	A 13	B 16	第1延長	A	B	第2延長	A	B	7m追加プレイ	A	B
7m得点/総数	A 0/0		チームタイムアウト 1 1914 2 後半 3 1947			チームタイムアウト 1 2824 2 後半 3 2457			B 4/5		7m得点/総数			

No.	県立四日市商業高等学校	G	W	2'	2'	D	DR	No.	白梅学園高等学校	G	W	2'	2'	D	DR
1	加藤 愛望							1	木村 百花						
2 C	古川 瞳	2						2 C	高橋 弥那	2	1	1			
3	吉田 美月							3	平野 早姫	1					
4	南川 満帆	1	1					4	小宮山 果歩	2					
5	伊東 若葉	2						5	大谷 彩乃	2					
6	前川 来夢	1						6	布施 蓮	2					
7	伊藤 朱里	1	1					7	伊藤 結衣	7					
8	濱田 唯花							8	齋木 里奈						
9	服部 望愛	2	1					9	篠崎 来美						
10	森田 光	4		1				10	小山 愛莉						
11	今谷 琉果							11	佐藤 蘭						
13	豊田 陽菜							12	上石 奈津子						
14	孫田 空							13	叶谷 紅名						
15	原 成海							14	細谷 琳花						
役員A	蛭川 健司							役員A	須川 文敬						
役員B	田中 春陽							役員B	榎本 満里奈						
役員C	橋本 由紀子							役員C	田中 久樹						
役員D								役員D							

A	蛭川 健司	チーム役員A署名	須川 文敬	B
---	-------	----------	-------	---

レフェリー	太田 直希	西山 周良	太田直希 西山周良
TD	葦原 大三	桑田 祐成	葦原大三 桑田祐成
MO	本田 真吾		本田真吾

得点(G),警告(W),退場(2),失格(D),報告書付き失格(DR)特記事項に報告書として内容を記入

ハンドボール No. 49

令和元年度全国高等学校総合体育大会
高松宮記念杯第70回全日本高等学校ハンドボール選手権大会

戦評

開催日	2019年 8月 6日 火曜
会場	菊池市総合体育館
種別	女子
回戦	3回戦

スコア	チーム名	総得点	前半	総得点	チーム名
	四日市商業	13	16	5-10	16
後半				8-6	
	第1延長		第2延長		7MC
	—		—		—
	—		—		—

※第1延長・第2延長及び7MCの得点は総得点に加算してください。

戦評	前半
	<p>四日市商業は6-0DF、白梅学園は4-2DFでスタートする。両チームともに積極的にアタックをしかけ、簡単にシュートを打たせず、11分で2-2とロースコアの立ち上がりとなった。四日市商業は、しつこくピボットを使い、退場を誘うことに成功する。しかし、この場面で白梅学園は、小宮山がステップシュートを決め、リードを許さない。するとディフェンスが機能し始め、伊藤の速攻や、スピードあるパスワークで、ウイング大谷、平野らが得点し、5連取でリードを奪う。プレッシャーを受けながらも、確実にパスをつなぎ、シュートに持ち込んだ白梅学園が、5-10とリードして前半を終了した。</p>
後半	<p>後半立ち上がり四日市商業は、積極的なディフェンスからGK加藤が落ち着いたキーピングを見せと、素早く攻撃をしかけ、白梅学園ディフェンスに的を絞らせず、森田や古川が得点を挙げる。後半開始から6連続得点で、11分に逆転成功する。対する白梅学園は、高橋、伊藤が力強い1対1から得点すると、寄せの速いディフェンスで相手攻撃を防ぎ、4連続得点で11-14とする。白梅学園は手渡しパスを入れながら、時間を上手く使った攻撃で点差を保ち、13-16で逃げ切り、ベスト8に駒を進めた。</p>

記入者 矢住 征規